

3-13 食品廃棄物や豚ふん等を原料にした特殊肥料 (街クリーン株式会社)

- 街クリーン株式会社は、食品小売事業者やホテルなどから排出される食品残渣、木質チップ、豚ふんを活用し、特殊肥料「街クリーンB」を製造。

■国内資源の種類 ■肥料の種類・肥料名称

- ・食品残渣
- ・木質チップ
- ・豚ふん

- ・街クリーンB

■作物

- ・大麦
- ・小麦
- ・大豆
- ・タンカン

■主成分の含有量(%)、特徴等

N	P	K	石灰
1.3	1.9	1.0	12.0

■取組の経緯・内容・成果(見込み)

取組の経緯

- ・当初、草本をチップ化して堆肥メーカーに販売していたが、糸満市内の堆肥製造施設を譲り受け、平成28年から食品関連事業者から回収した食品残渣、養豚農家からの豚ふんを混ぜ合わせ堆肥製造し、平成31年には、食品リサイクル法に基づく再生利用事業者として登録され、食品循環資源を確立している。

取組の内容

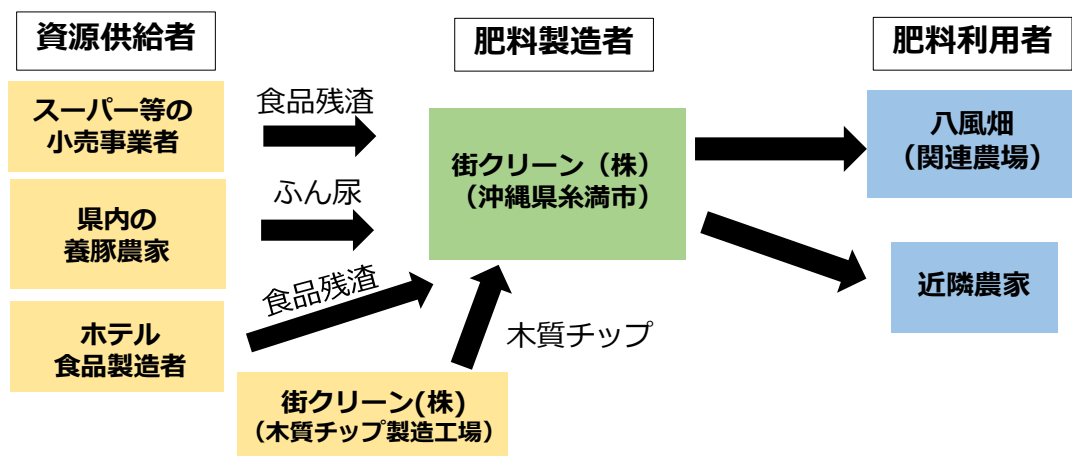
- ・食品小売事業者やホテルなどから排出される食品残渣を受入れ、特殊肥料「街クリーンB」を製造・販売。関連会社である農業生産法人株式会社八風畑(やふうばたけ)の名護市、南城市のほ場で麦類や大豆、タンカン、葉野菜などの肥料として利用している。また、近隣の10農家がインゲン、オクラ、キャベツ、レタスの肥料として利用している。

成果(見込み)

- ・大麦・小麦の栽培実証において、特殊肥料の利用により化学肥料の使用低減につながり、コストの削減となっている。

化学肥料使用量：(導入前) 12kg/10a ⇒ (導入後) 10kg/10a (18%減)

■主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■今後の課題・取組

【課題】

- ・肥料製造機械の老朽化、製造効率の改善
- ・製品の臭気改善

特殊肥料
「街クリーンB」



【取組】

- ・国や自治体との意見交換を交え、利用できる事業メニューを検討。
- ・基準値は超えていないが臭気対策に取り組む(乳酸菌や酵母菌を添加)



小麦の栽培
(八風畑)

製造工場
(山城堆肥工場)

